

発行所／愛媛県町村会・愛媛県町村議会議長会
〒790-0001 松山市一番町4丁目1番地2
TEL089-941-7598(代表)
FAX089-945-1318



砥部町

「七折梅まつり」

山の斜面を彩る梅の花は開花時期や花の色が異なり、約30種1万6000本の梅が皆さんをお迎えします。

- ・日時 2月20日(水)～3月10日(日)
- ・場所 伊予郡砥部町七折

Contents

簡易水道全国大会	2	お知らせ(町イチ!村イチ!2019)	5~6
愛媛県町村会第2回全員連絡会	3	一筆	7
愛媛県市町総合事務組合議会臨時会	3	(公財)愛媛県市町振興協会災害支援金	7
四国四県町村会事務連絡会議	3	12月の行事	7
市町職員研修会(人権協会)	4	町からのお知らせ	8



簡易水道予算の確保を！ 簡水協・第63回全国大会開催

シエーンバッハ・サボーで

全国簡易水道協議会は、11月15日、東京・平河町のシエーンバッハ・サボーで「第63回簡易水道整備促進全国大会」を開き、大会宣言や大会決議を決定した。

大会は、山口副会長（長崎県川棚町長）の開会の辞に続いて、山崎会長（北海道京極町長）があいさつを述べた。

次いで、厚生労働大臣表彰及び全国簡易水道協議会会長表彰の受賞者に表彰状が贈られた。

続いて、北村副会長（長野県青木村長）の朗読により「大会宣言」を採択。

次いで、来賓祝辞があった後に、議長に杉本副会長（福井県池田町長）を選んで議事に入った。

議事では、水道（簡易水道）関係予算の所要額825億円の満額確保など4議案をすべて決定した後に、別

掲の「大会決議」を上山副会長（和歌山県湯浅町長）が朗読し、満場一致でこれを採択した。

なお、今後、平成31年度政府予算に反映させるため、各都道府県協議会と関係市町村が一丸となって、地元選出国會議員に対して要望運動を展開することになった。最後に、小田副会長（岩手県野田村長）の開会のことばで大会の幕を閉じた。

第63回簡易水道整備促進全国大会次第

1. 開会の辞
2. 全国簡易水道協議会会長挨拶
3. 表彰式
厚生労働大臣表彰
全国簡易水道協議会会長表彰
4. 大会宣言
5. 来賓祝辞
厚生労働大臣
総務大臣
6. 来賓紹介
7. 議長選出
8. 議事
9. 大会決議
10. 閉会の辞

大会宣言

水道は、国民生活に必要な不可欠な社会基盤施設であるにも拘わらず、今なお農山漁村を中心に水道の恩恵に浴せない地域が存在している。

これら未普及地域の早期解消は簡易水道に課せられた重大な使命であり、その早期整備が熱望されている。

また近年、施設の老朽化、原水水質の悪化、多発する地震等自然災害への対応に係る費用はますます増大し、脆弱(ぜいじゃく)な市町村財政を窮迫(きゅうはく)させている。

政府は、このような簡易水道事業の実態と役割を認識し、われわれが要望する平成31年度簡易水道関係予算を確保され、国民皆水道の早期実現と簡易水道事業の健全なる運営を図るために万全の措置を講ずべきである。

以上 宣言する。

平成30年11月15日

全国簡易水道協議会
第63回簡易水道整備促進全国大会

大会決議

国民皆水道の早期実現は、われわれに課せられた重大な使命である。

この使命を早期に達成するとともに、地方の生活基盤である簡易水道の基盤強化を推進し、地域住民の期待に応えるため、われわれはこの第63回簡易水道整備促進全国大会において、当面する重要課題を決定し、特に次の4項目の実現を期して一致団結、決意を新たに最善を尽くすものである。

記

1. 水道（簡易水道）関係予算の所要額825億円の満額確保を期す
 1. 簡易水道等施設整備費の補助制度の拡充を期す
 1. 簡易水道関係事業債283億円の確保を期す
 1. 簡易水道事業に対する地方財政措置の充実を期す
- 以上 決議する。

平成30年11月15日

全国簡易水道協議会
第63回簡易水道整備促進全国大会

第2回全員連絡会を開催

愛媛県町村会

愛媛県町村会は、12月27日県自治会館で「平成30年度第2回全員連絡会」を開催した。

会議には、県下全9町長が出席し、次項により進められた。

1 開 会

あいさつ 清水会長

3 協議事項

(1) 愛媛県市町振興課からの連絡事項について
井上愛媛県市町振興課長から

・住民票の異動について

・防災・減災のための3か年緊急対策の推進について

(2) 農地中間管理機構関連農地整備事業等の推進について

(3) 道路整備の促進に係る全国大会等への出席について

(4) ジェトロ愛媛貿易情報センターにかかる地元負担額の変更について

以上、愛媛県関係各課等から説明があり、一同了承した。

(5) 「愛媛県町村会振興基金に関する規程」の一部改正について

(6) 本会第72回定期総会について

(7) 海外地方行政調査（台湾）について

(8) 「町イチ！村イチ！2019」の開催について

以上、本会事務局から説明し、一同了承した。

4 報告事項

(1) 山本順三 国家公安委員長・国土強靱化・防災担当大臣との意



見交換会について

(2) 愛媛県自治会館 建替えについて（経過報告）

(3) 自治労愛媛県本部および自治労連愛媛県本部からの要請書について

以上、本会事務局から報告し、一同了承した。

5 その他

・次回本会全員連絡会については、平成31年2月5日（火）12時30分から、愛媛県自治会館において開催することとした。

四国四県町村会事務連絡会議

12月20日 高知県で開催

四国四県町村会事務連絡会議が、12月20日

「高知県自治会館」で開催され、

各県事務局長や担当者から出席。

各県から提出された議題を中心

に意見交換を行った。

〈各県提出議題〉

1 平成30年度

四国四県町村長・議長大会の決算見込みについて（徳島県）

2 平成31年度四国四県町村長・議長大会について（香川県）



3 町村会の事務に関する参考書籍等について（愛媛県）

4 職員の勤怠管理及び残業時間等の管理について（愛媛県）

5 町村会からの要望活動について（徳島県）

6 各県町村会・議長会及び組合等の事務局体制について（香川県）

7 会計年度任用職員について（徳島県）

8 その他
・平成31年度以降の全国町村会役員について
・平成31年度以降の全国退職手当組合協議会役員について

なお、今回は徳島県で開催されることに決定した。

愛媛県市町総合事務組合 議会臨時会を開催

愛媛県市町総合事務組合（組合長・清水雅文愛南町長）は、12月27日（木）午後1時47分から「愛媛県自治会館」において平成30年第1回組合議会臨時会を開催した。

出席者は、清水組合長・二宮副組合長（大洲市長）・岡本松前町長・加藤東温市長・佐川砥部町長・酒井西予市議会議長・程内鬼北町議会議長の各議員。

組合議会は程内議長の議事進行により、会議録署名議員に加藤議員及び佐川議員の両名を指名し、本組合

議会臨時会の会期を1日限りと決定。

議事に入り、次の各議案について審議し、いずれも原案どおり決定した。

議案第12号

職員の給与に
関する条例の一部改正について

議案第13号

愛媛県市町総合事務組合の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例の制定

議案第14号

平成30年度本組合一般会計補正予算（第1号）について



30年度市町職員研修会を開催

12月7日 愛媛県人権協会

愛媛県人権協会主催による、「平成30年度市町職員研修会」が12月7日にぎたつ会館 2階 楓の間で開催され、県内市町の管理職員ら33名が出席した。

講師に、ジャーナリストの石川結貴氏を招いた。

講師は、家族や教育問題、児童虐待や青少年のインターネット利用な



どをテーマに豊富な取材実績をお持ちであり、現在までに書籍も多数刊行され、著書の短編小説集『小さな花が咲いた日』は、中学・高校入試問題として7年連続採用された。また、希薄化した地域社会の中で孤立する子どもの現状を追った『ル

ポ子どもの無縁社会』は大きな反響を呼んだ。

書籍のみならず、雑誌の連載や特集記事の執筆、コメンテーターとしてテレビにも出演し、家族問題の第一人者として幅広く活躍されている。今回は、「孤立と虐待のない地域づくり」無縁化する子どもを支えるためにできること」をテーマに子供を取り巻く現状、家庭や地域でできることを分かりやすく話され、有益な講演をいただいた。

平成30年度市町職員研修会実施要領

- 1 研修目的 本年度事業計画に基づき、本県の人権対策の推進を図るため、会員市町の管理職員を対象に開催するものである。
- 2 主催 愛媛県人権協会
- 3 日時 平成30年12月7日(金) 受付 13時30分
開会 14時00分
閉会 15時30分 (予定)
- 4 場所 にぎたつ会館 2階 楓の間
- 5 研修演題、対象者、講師
 - ・テーマ 孤立と虐待のない地域づくり
～無縁化する子どもを支えるためにできること～
 - ・対象 市町管理職員 (各市町4名程度)
 - ・講師 石川結貴氏 ジャーナリスト
著書『スマホ廃人』
『ルポ 居所不明児童-消えた子どもたち』



■経歴・職歴

家族・教育問題、青少年のインターネット利用、児童虐待などをテーマに取材。豊富な取材実績と現場感覚をもとに多数の話題作を発表している。著書『スマホ廃人』では、スマホやネットがもたらす数々の社会現象を追い、利便性の背後にある新たな問題を提起。また、『ルポ 居所不明児童-消えた子どもたち』は貧困や虐待の問題を抱えたまま放置される子どもの実態を報告、大きな反響を呼んだ。出版のみならず、専門家コメンテーターとしてテレビ出演、全国各地での講演会など幅広く活動する。

■主なマスコミ活動

- NHK 「あさイチ」「ニュースウォッチ9」
- 日本テレビ 「ニュースプラスワン」「真相報道バンキシャ！」
- TBSテレビ 「ひるおび！」
- フジテレビ 「とくダネ！」「ほんまでっか!?TV」
- テレビ朝日 「ワイド!スクランブル」「報道ステーション」

■著書

- 『人生を豊かにするスマホとの付き合い方-シニアのための、いちばんやさしいスマホの本』
- 『お母さんと子どもの愛の時間』『スマホ廃人』
- 『子どもとスマホ-おとなの知らない子どもの現実』
- 『ルポ 居所不明児童-消えた子どもたち』『ルポ 子どもの無縁社会』
- 『小さな花が咲いた日』『愛されなかった私たちが愛を知るまで』



町イチ!村イチ!2019が開催されます

町村自慢の特産品やグルメ食材が東京に!

予告

11/30・12/1 東京国際フォーラムで

【町イチ!村イチ!2017の会場風景】



▲地下2階 ホールE



▲ホールE メインステージ



▲地下1階 ロビーギャラリー



▲JR有楽町駅前地上広場サテライト会場

1. 開催概要

- (1) 日 時 平成31年11月30日(土) 12月1日(日)
- (2) メイン会場 東京国際フォーラム
- (3) サテライト会場 JR有楽町駅前地上広場

【施設概要】

- ホールE (1・2) 地下2階 5,000㎡
- 300小間程度(1小間…4㎡ 対面式)
- ロビーギャラリー(1・2) 地下1階 700㎡
- ロビーギャラリー(1・2) 500㎡

2. 主な実施内容

- (1) 特産品の展示・販売
- (2) 各町村の自慢の逸品を展示・販売
- (3) 飲食物の販売
- (4) 各町村のグルメ食材の調理・販売
- (5) 郷土芸能等の披露
- (6) 各町村の郷土芸能や踊り・パフォーマンス等の披露
- (7) ご当地キャラ等によるPR
- (8) イベント会場内各所でご当地キャラ等による各町村のPR
- (9) 伝統工芸の実演・体験
- (10) 伝統工芸の製作実演及び体験
- (11) 「小さくてもキラリと光る町や村」応援コーナー
- (12) 人口は少なくとも地域活性化に精力的に取り組む町村による特産品の販売や施策のPR等
- (13) 被災地復興応援マルシェ
- (14) 被災からの復興に取り組んでいる町村の名産品の紹介・販売
- (15) 926町村PRコーナー
- (16) 926もの町村があることを来場者に認知いただくためのシンボルの造作・展示等によるPR
- (17) その他

3. 広報関係

- (1) 主催者負担(全国町村会)
- (2) 会場費
- (3) 会場等設営費
- (4) 光熱水費
- (5) 広報費
- (6) 参加者負担
- (7) 参加者の交通費、宿泊費、通信費
- (8) 物品・展示品等の運送費
- (9) 個別ブースの運営等にかかる費用

4. 広報関係

読売新聞社の協力によるメディアを通じた広報の他、プレスリリース、ポスターの掲出、チラシの配布、ホームページでの情報発信を予定。



皆が肝に銘じて

平成年号最後の12月が終わった。時が途切れる事のない中、毎年その短さと慌ただしさを実感する師走である。

近年の四季の異常な暑さ寒さ、現象に加え、各地域に自然災害の恐ろしさを強く心に残した平成30年であった。中でも本県はじめ岡山県、広島県など7月の西日本豪雨によって尊い生命が奪われ（合掌）、忘れられない年となった。

日本人皆が到底忘れることの出来ないものに阪神淡路大震災、東日本大震災がある。以来、日本列島約3,000kmは、地震多発生、休火山は活火山に指名変更。地中は、予告無しに異常な動きを活発化しており、さらに豪雨、雷、強風、かつては珍しかった竜巻など大気の異常は年々凄くなってきた。今や列島は、軸がズレたのか、籠が外れたかのように何処か違ってきたような気がする…。勿論この1年に限らず自然は動いており、地球のそこかしこで異常気候に襲われていることが、今日の自然界模様でもある。ただ偏った地域では、今年も自然の脅威とともにさらに終息の見えない人為的紛争(戦争)が止まらず続いており、平和ボケと揶揄される日本は恵まれていると云わねばならないかも…。

今から72年前、昭和21年12月21日早朝、紀伊半島沖を震源地とした「昭和南海地震」(M8)が起きた。今年6月の大阪北部、9月北海道胆振東部地震などはじめ日々日本列島は揺れている。南海トラフ巨大地震は、発生確率も上がっており発生周期は約100年の説もある。現住地から逃避出来ないならばその対応を確実に強化するしかない。

来年度政府予算は過去最高額になるらしい。人口減少等を憂うより前に都市・地方を問わず、現下のライフをまず完全に確保するための大投資こそ必要。人・物ともに意味を満たさない数増や数合わせで「負」を増すよりも縮小もやむを得ない。堅実に活かせるものを構築願いたいものである。

さて、来年の干支は猪である。猪突猛進をさげたい。外には、核兵器をはじめ超強大武力を誇示、覇権を狙う国、約束事と不履行が表裏の国などのような行為も黒を白と主張する国など。いずれも日本人の「感覚」では理解し難い自国(自分)ファースト達がうごめく国際社会。来年は、現実を一層認識、国民一体で何事も対処すべきであろう。特に皆が現下の空気・環境を確り肝に銘じるべき時代のようなだ…。

「人間性は変わらないものだと言う月並みな言葉は、ただもつとも人間らしからぬ一面だけに注目するあいだけ、正しいように思えるのである」

(トニー・英国の歴史家)

(公財)愛媛県市町振興協会災害支援金

公益財団法人愛媛県市町振興協会(理事長・清水雅文愛南町長)は、先平成30年7月豪雨(西日本豪雨)により、災害救助法の適用を受けた今治市、宇和島市、八幡浜市、大洲市、西予市及び松野町に対し、一般財団法人全国市町村振興協会からの災害支援金に本協会分を併せて交付した。各市町の交付額は左記のとおり。

災害支援金交付額

交付市町	交 付 金 額		
	全国協会分	愛媛県協会分	合 計
今 治 市	400千円	400千円	800千円
宇 和 島 市	3,550千円	3,550千円	7,100千円
八 幡 浜 市	600千円	500千円	1,100千円
大 洲 市	3,250千円	3,250千円	6,500千円
西 予 市	2,250千円	2,250千円	4,500千円
松 野 町	500千円	500千円	1,000千円

12月の会と催し

- ▽3日 中村知事3期目初登庁の面談
- ▽4日 全国退職手当組合協議会幹事会、全国町村会政調幹事会・都道府県町村会事務局長会議・災害共済事務連絡会議
- ▽5日 第3回「平成30年7月豪雨災害に係る義援金」配分委員会
- ▽7日 愛媛県人権協会平成30年度市町職員研修会
- ▽8日 第38回障がい者福祉推進愛媛県大会
- ▽10日 塩崎恭久衆議院議員へ要請活動
- ▽11日 自民党税制調査会勉強会
- ▽12日 再任用・退職手当・年金制度の実務者研修会
- ▽16日 自治体消防制度70周年記念・消防団活動推進大会
- ▽20日 四国四県町村会事務連絡会議、公益社団法人愛媛県浄化槽協会第43回理事会
- ▽27日 愛媛県市町総合事務組合臨時組合議会、愛媛県町村会第2回全員連絡会

砥部焼が



世界の空へ!

砥部町とANAは「砥部焼の認知度向上」並びに「砥部焼をフックとした砥部町への誘客」を目的とした「砥部焼プロモーション」の実現を目指し、双方が連携して事業に取り組みます。

連携により、砥部町の誇る伝統的工芸品「砥部焼」ぐい呑みをANA国際線ファーストクラスへ搭載し、日本酒を希望された際ご提供いたします。提供後はそのままお持ち帰りすることができます。また、羽田空港ラウンジに「砥部焼」ぐい呑みを設置し、日本酒を飲まれる方に利用いただき砥部焼の良さを知っていただくものです。

その他、「ANAふるさと納税サイト」への参加や来年公開予定の砥部焼を題材とした映画「シンパシーライジング」に対して、撮影スタッフ移動の航空券の提供や機内上映などANAにご協賛いただくこととなり、様々な分野で連携して地域創生に取り組んで参ります。



佐川秀紀砥部町長(左)・丹羽明夫ANA中四国支社長



砥部町ふるさと納税返戻品の一例



ANA国際線ファーストクラス・羽田空港ラウンジへ提供する砥部焼ぐい呑み